

山口大学医学部附属病院で実施した研究に参加された皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、以下の問合せ先にご連絡下さい。

① 研究課題名	全脊椎アライメントデータを統合した高リクライニング座位における乗員衝突傷害メカニズムの有限要素解析			
② 実施予定期間	研究実施許可日 から 2028 年 3 月 31 日			
③ 対象患者	対象期間内に「カーシートリクライニング時の X 線学的全脊椎アライメントとシートベルトの位置の検討（承認番号：2021-183）」に参加し、X 線撮影および身体計測を行ったボランティアの方（100 例）			
④ 対象期間	2022 年 05 月 10 日から 2026 年 3 月 31 日			
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院			
⑥ 対象診療科	整形外科			
⑦ 研究責任者	氏名	西田 周泰	所属	リハビリテーション部
⑧ 使用する情報等	研究課題「2021-183」にて収集した以下の情報・データ。 1. 背景情報（年齢、性別、身長、体重、BMI、胸囲、腹囲・皮膚厚） 2. 全脊椎・骨盤X線画像データ（頸椎前弯角、胸椎後弯角、腰椎前弯角、仙骨傾斜角、骨盤傾斜角、骨盤入射角、矢状面バランス） 3. 腰椎・骨盤局所幾何データ（各腰椎椎体高・前後径、各腰椎椎間板高〔前方・後方・平均〕、椎間板傾斜角、ウェッジ角） 4. 初期シートベルト装着位置データ（骨盤・胸骨・鎖骨との位置関係・角度）			
⑨ 研究の概要	将来の自動運転普及に伴い、乗員が高リクライニング姿勢（25°、35°、45°）で乗車する環境が想定されます。本研究では、「2021-183」で得られた各個人のX線アライメント（脊椎や骨盤の並び方や角度、位置関係）データおよび腰椎・椎間板の詳細な幾何パラメータを、高度な人体有限要素解析モデルに適用し、56 km/h前面衝突シミュレーションを実行します。 これにより、初期の腰椎アライメントの違いが、衝突時の脊椎の動的座屈変形、腰椎・仙骨への局所集中荷重、頭部加速度、胸郭ひずみ、内部実質臓器（肝臓等）の変位、ならびにシートベルトの拘束挙動（サブマライニング現象）に与える定量的影響を解明します。提供されたデータは特定の個人が識別できないよう加工（仮名化）して取り扱い、解析結果および論文成果のみを共同研究先（マツダ株式会社）へ提供します。			
⑩ 実施許可	研究実施許可日	2026 年 9 月 9 日		
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			

⑫ 結果の公表	学会や投稿論文として公表します。			
⑬ 個人情報の保護	研究結果を公表する際には研究対象者個人を特定できる情報は使いません。			
⑭ 知的財産権	山口大学とマツダ株式会社に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	マツダ株式会社との共同研究費			
⑯ 利益相反	本研究はマツダ株式会社との共同研究費を用いて実施します。このため研究資金の提供に関する利益相反がありますが、山口大学の利益相反管理に関する規程に基づき適切に管理して研究を実施します。なお、本研究に関連する企業からの寄付金の受け入れはありません。			
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 リハビリテーション部 西田周泰			
	電話	0836-22-2266	FAX	0836-22-2267